

講演会講師論稿

平成一六年主催講演会について

平成一六年の講演会は、都合により、これまでの福祉会館に替えて中央公民館で開催致しました。

春三月の講演会は、講師に大分県地方史研究会参与・芦刈政治先生をお迎えして開催され、演題は「江戸時代の処刑例―府内森両藩の古文書を読む―」で、古文書を中心に当時の刑罰の苛酷さと差別性を厳しく指摘されるものでした。



芦刈政治先生



渡辺文雄先生

初夏五月の講演会は、講師に宇佐の県立歴史博物館副館長・渡辺文雄先生をお迎えして開催されましたが、演題は「仏像の見方」と題し、県内の著名仏像のスライドをも題材にして、仏像観察の要点を平明に解説するものでした。

その後両先生には、ご多忙の中をさらにご無理をお願いして、次頁以下の論稿の執筆をご依頼申し上げました。いずれも多年にわたり蓄積された研究成果の結晶であります。会員一同感謝の意を込めて是非ご一読されますようお願いいたします。

(研修部)